



VJU
Vietnam Japan University
VNU since 1906

【日越大学メールマガジン Vol.23, 2019年4月号】

日越大学は、日本とベトナムの両政府により、両国の友好と結束の象徴として新たに設立された大学で、2016年9月にベトナム・ハノイで開校しました。現在修士課程に2期生82名、3期生80名の学生が在籍し、共通科目の日本語と英語の習得に加え、地域研究(MAS)、企業管理(MBA)、公共政策(MPP)、ナノテクノロジー(MNT)、環境工学(MEE)、社会基盤(MIE)、気候変動・開発(MCCD)の各専攻プログラムを勉強しています。

また、2018年に入学した第3期生には、ミャンマーから2名、ナイジェリアから4名の計6名の外国人学生も入学し、国際大学としての第1歩を歩み始めました。



【今月のトピックス】

1 日越大学ニュース

1. 第4回日越大学理事会の開催

4月18日(木)に第4回理事会が開催されました。

当日は、日越それぞれ10名ずつ(計20名)の理事のうち、日本側9名(うち2名はテレビ会議にて出席)、越側8名の計17名の理事の方々に出席頂きました。

今回の議題は、①日越大学の2025年までの発展戦略と2035年までの展望について、②2030年までの教育研究分野の契約及び2019年の事業計画について、③サステナビリティ学研究院開設に関する提案について、④日本語教育センター開設構想について、でした。

各議題について、理事の方々から日越大学の現状に即した有意義且つ適切なご意見、ご助言を頂き、今後の日越大学の展望と発展に対して大変参考になるものでした。

また、日越大学から提案した各議題について、全て理事会において承認を頂きましたが、日越両国がおかれた現状と課題を見極めながら、適切な対応をとることが肝要であるとのご意見も頂きました。



2. 第1回エクゼクティブ・プログラムの開催

日越大学における「社会貢献」の一環として、「第1回日越大学エクゼクティブ・プログラム」を4月20日（土）に独立行政法人国際協力機構（JICA）ベトナム事務所の支援を頂き、JICAベトナム事務所で開催しました。

当日は、在ベトナム日本大使館から梅田大使、ベトナム日本商工会議所から松下副会頭（パナソニックベトナム）、及びベトナム国内の日系企業の方々を中心に41名の参加を頂きました。

また、講師は、ベトナムにおける党、政府の幹部養成機関であるホーチミン国家政治学院副院長及び共産党中央理論委員会委員のグエン・ヴィエット・タオ氏をお迎えし、「ベトナムの政治システム」と題して講義をして頂きました。

更に、コメンテーターとして、ト・フィ・ルア氏（越日友好協会会長、元ベトナム共産党政治局員）もお迎えしました。

講義では、グエン・ヴィエット・タオ氏から、(1) ベトナムの政治システムの概観と特徴、(2) ドイモイ時代におけるベトナムの政治システムの活動状況、(3) 新しい環境のもとでのベトナムの政治システムの活動の刷新、といった内容でベトナムにおける政治システムの長所と短所、時代に即した政治システムの在り方等について、お話しいただきました。

また、モデレーターを務めた古田日越大学学長からグエン・ヴィエット・タオ氏に対して、普段は聞くことができないベトナムの政治システムの疑問点、課題等について質問をして頂き、出席者にとっては、ベトナムの違った一面を知ることができた有意義な講義になりました。

なお、「第2回エクゼクティブ・プログラム」（テーマ：「ベトナムから見た世界情勢」、講師：ヴァー・コアン氏（元ベトナム副首相（対外経済担当）、元共産党中央委員、元共産党書記局員）が4月27日（土）に開催されましたが、本プログラムの様子は、来月号（5月号）でお伝えさせていただきます。



3. ジョブフェアの開催

4月20日（土）～21日（日）にかけて、日越大学として初めてのジョブフェアを開催いたしました。日越大学学生のみを対象としたフェアでしたが、日系企業11社に参加をしていただきました。当日は、午前に会社説明会、午後に採用面接会を実施し、2日間で約80件の書類選考、約40回の面接が実施されました。日本、或いはベトナムの日系企業で就職を希望する学生たちは、企業の採用担当者と直接話ができる機会とあって、積極的に就職活動をしていました。ジョブフェア終了後、参加をした企業からは「日越大学の学生は他のベトナムの大学の学生より、はるかに優秀です。」や「面接をした学生全員を採用したいです。」といった嬉しいコメントが寄せられました。すでに、日本本社との面接がセッティングされている学生もおり、非常に実り多いイベントとなりました。

日越大学 HP : <http://vju.ac.vn/job-fair-nde142.html>



2 日越大学専任教員の横顔

昨年度から日越大学では、専任教員の雇用を積極的におこない、本学の教育の質の充実を図るために優秀な専任教員を採用しています。

そこで、今月から、各プログラムの専任教員を紹介していきます。

今月は、ナノテクノロジープログラムの Dr. Pham Tien Thanh と環境工学プログラムの Dr. Nguyen Thi An Hang を紹介します。

【ナノテクノロジープログラム】

◇ 名 前：ファン テイエン タイン (PHAM TIEN THANH)

◇ プログラム：ナノテクノロジープログラム

◇ 学 歴：2006年から2010年まで東工大の電気電子学科学部を修了し、2010年から2014年まで東工大の物理電子システム創造専攻で修士課程と博士課程を修了しました。

◇ VJUの仕事：東工大の博士課程を卒業した後、ベトナムでの就職を決心し、ベトナムに戻り、日越大学で働くチャンスを見つけました。日越大学は日本の文化とベトナムの文化を融合する場であると考え、その場に日本で蓄えてきた経験や知識を生かせると思っているので、VJUで仕事を始めました。

◇ 研究テーマ：ナノ粒子や金属の薄膜で励起される表面プラズモン共鳴という物理現象を用いて、バイオセンサーや黒体、光吸収体などの開発を研究しています。また、自然界に存在するナノ構造等を分析し、そのナノ構造を用いて、光エネルギーを熱エネルギーに変えるデバイスを研究しています。

◇ 将来の研究テーマ：自然界に存在するナノ構造を用いて、海水炭水化や太陽熱蒸気発生に応用デバイスを開発したいと考えています。



【環境工学プログラム】

◇ Name : Dr. Nguyen Thi An Hang

◇ Program: Lecturer cum Coordinator of Master's Program in Environmental Engineering (MEE)

◇ Education Background:

She graduated from VNU University of Science (HUS) with an outstanding degree in Biology.

In the next 2 years, with a full-scholarship from Vietnam Government, she completed her master study with an excellent degree in Soil Science and Environment. She has worked for the Centre for Regional Research and Development (CRD) under Ministry of Science, Technology & Environment (MOSTE) as a researcher, deputy head, and head of the Research and Development Department for almost 10 years. She also had experience as the project and program managers with NGOs. In 2011, she was granted a full-scholarship by Australia Government to study PhD on Environmental Engineering. She completed her PhD course at the University of Technology, Sydney (UTS), Australia in 2015. During her PhD study, she published 01 book-chapter, 07 technical and review papers with high impact factors. As a result, she won PhD student's publication awards from UTS for publishing in high quality journals in 2 consecutive years of 2014, 2015.

◇ Responsibilities at VJU:

Since July 2015, she has started to work for VJU Management Board as an academic staff to prepare necessary conditions for establishing master's programs. When VJU came into operation in 2017, she successfully applied and became the full-time Lecturer cum Coordinator of MEE and works from then till now. Besides teaching, she actively involves in many research activities.

◇ Research Theme:

Her main research interests include water and wastewater treatment, soil pollution, heavy metals decontamination, phosphorus removal and recovery, biosorption, landfill leachate treatment, phytoremediation, constructed wetlands, etc. She is keen on developing and applying environmental technologies, which are



research projects, sponsored by VJU, JICA, ARC, and NAFOSTED. She is a key member of VJU's task force to prepare for SATREPS project proposal. She hopes to strongly develop her professional career makes great contributions to VJU, and become a pillar of MEE soon.

3 今後の主な予定、行事（予定）

- ◇ 5月3日 RILP セミナー開催
- ◇ 5月4日 Vietnam Japan Science and Technology 2019 Symposium
- ◇ 5月18日 学生募集説明会（ハノイ）
- ◇ 5月27日 学生募集説明会（ラオス ヴエンチャン）

【お問い合わせ先】

日越大学・日越大学修士課程設立プロジェクトメールマガジン編集委員会

Tel: +84 (0) 247-306-6001

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

日越大学 HP <http://admission.vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook (ベトナム語) <https://www.facebook.com/vju.edu.vn/?fref=ts>

日越大学 Facebook (日本語) <https://www.facebook.com/jicavju/>

JICA HP <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/040/index.html>

【メール配信停止・変更】

本メールマガジンの配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、お手数ですが、日越大学・日越大学修士課程設立プロジェクトメールマガジン編集委員会 mail.magazine@vju.ac.vn までご連絡頂ければ幸甚に存じます。